

「自然広場から 近隣の自然の変化に目を向ける No.15

6月も百花繚乱 Profusion of flowers in June 」2020年6月27日

4,5月につづき6月も自然はまさに百花繚乱。被写体探しに苦労しないように蜂たちも花の周りを飛び交っている。花のかたち、色彩、香りも多種多様だ。個々の花の由来や特徴を知るのは後回しにし、自然を飾る多様な姿に目を向けて楽しみたい。

今年、私が初めてみた花は、ペパーミントとミッキーマウスツリーとサボンソー。花もハッカの香りが強いのでマスクの内側に挟んで楽しんだ。黒い実がミッキーの耳？最近人気らしい。サボンソー＝シャボン草：花、葉、根など全体にサポニンを含み、昔、ヨーロッパでは洗たくに使われたと言う。アカンサスの長く伸びた花はいつ見ても不思議に思う。

ギリシアの国花で、古代ギリシアのコリント様式の建築に、アカンサスの葉が彫刻のモチーフとして使われた。上野の旧岩崎邸の内装にもアカンサスの葉が模様として使われているのを見たことがある。

http://sengawacx.com/LookNatureN015_2020.jpg